

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月13日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【重機燃料の抜油作業における危険物の貯蔵に関する届出および許可申請の手続き不備について】 当社社員が、構内の危険物屋外貯蔵所へ運搬するための廃油受入調整中に、協力企業が実施した重機からの燃料(軽油)抜油(2,340L)作業で発生した油について、以下の2点を失念していたことを確認。 ・火災予防条例に定められた、届出が必要な量を取り扱っていたが届出がされていなかった。 ・消防法で定める危険物貯蔵所の許可申請をせず、指定数量を超える量の抜油した軽油を、資材ヤードに一時貯蔵していた。 軽油は構内の危険物屋外貯蔵所へ運搬済み。 今後、構内の同種作業の管理状況の確認、原因調査、再発防止対策を検討。</p>	G II	4月7日
2	<p>【凍土遮水壁設備の凍土補給水タンク積算流量計からのにじみについて】 当直員が凍土補給水の水源を凍土補給浄水槽から、ろ過水タンクに切り替えた際、積算流量計からのにじみを確認。 積算流量計の前弁を「閉」とし、にじみは停止。 現在、補給水は凍土補給浄水槽より供給。 当該積算流量計は、凍土補給浄水槽からの補給が出来ない場合の予備ルートに設置されているものであり、凍土遮水壁設備の運転に影響なし。 今後、積算流量計を交換予定。</p>	G III	4月8日